【授業科目】産業看護学演習Ⅰ（文献検討）　Advanced Seminar of Occupational Health Nursing I

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
大谷 喜美江、柴田 英治、後藤 由紀	１年次 前　期	選　択	２	６０	演　習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	学生が関心を抱く産業看護の研究論文を検索し、文献のレビューと批判的検討を実施する。様々な研究デザインの論文を精読することにより、研究能力の獲得を目指す。保健師がおこなう個人・家族・組織・地域に対しておこなう看護活動について学び、各自の実践活動と照らし合わせこれからの産業看護の方向性について検討する。授業は実務家教員（大谷、柴田、後藤）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／授業時間内のディスカッションをとおして全体で検討し、学生にコメントする。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシーの④「健康に対する社会的ニーズを認識し、保健・医療・福祉チームの一員として、国内外で広く社会に貢献する能力を体得する」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①産業看護に関連する文献を精読できる ②産業看護に関する文献で使用される研究手法を理解できる。 ③文献検討を通じて、批判的検討ができる。 ④産業看護学における倫理的配慮と特徴について説明できる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前：各自で論文を検索して読み、各回のテーマについて理解を深め、自身の疑問点や意見を整理しておく（120 分）。 事後：授業時の討議内容を振り返り、さらに学びを深める。（30 分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／１回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第１回	オリエンテーション、産業看護学分野の研究動向	大谷・柴田・後藤
	第 2～5 回	産業看護学領域における対象理解に関する研究：量的横断研究の批判的検討	大谷・柴田・後藤
	第 6～9 回	産業看護学領域における対象理解に関する研究：量的縦断研究の批判的検討	大谷・柴田・後藤
	第 10～13 回	産業看護学領域における看護支援（健康教育）に関する研究：介入研究の批判的検討	大谷・柴田・後藤
	第 14～17 回	産業看護学領域における対象理解に関する研究：事例研究・質的記述的研究・内容分析等を用いた研究の批判的検討	大谷・柴田・後藤
	第 18～21 回	産業看護学領域における看護支援（保健面接技術）に関する研究：質的統合法・GTA などを用いた研究の批判的検討	大谷・柴田・後藤
	第 22～25 回	産業看護学領域における看護専門能力に関する研究：様々な手法を用いた研究の批判的検討①	大谷・柴田・後藤
	第 26～29 回	産業看護学領域における看護専門能力に関する研究：様々な手法を用いた研究の批判的検討②	大谷・柴田・後藤
	第 30 回	文献検討結果の産業看護への活用・まとめ	大谷・柴田・後藤

評価方法 評価基準	授業のプレゼンテーション内容・参加態度　50%、　レポート　50%		
教科書	特に指定しない。	参考書等	適宜、雑誌や書籍を提示する。